



◦ 古川地域は 東北地方緑色凝灰岩地域内の北上川河谷地域に属し 西方の奥羽脊梁山脈と東方の北上山地との間に広がる丘陵地帯に位置している。行政区画上 古川市及びその隣接町村に属する。

◦ 丘陵地域は 主として中新世中期以降の地層によって構成され 北は岩手県一関市周辺を経て北上市まで連続し 南は仙台市周辺の新第三系分布地帯に連なっている。丘陵頂部は西方に次第に高さを増し 奥羽脊梁山脈の東縁部に連なる。東方では高度を減じて低平化し やがて沖積平野下に没している。

◦ 古川地域の地質は 新第三系及びこれを被覆する第四系からなる。新第三系は下位から大松沢層・亀岡層・竜の口層・三本木層・宮床凝灰岩及び小野田層に分けられる。このうち 大松沢層は中新統に属し ほかは鮮新統に属する。これら各層は 緩い傾斜を示している。

◦ 第四系は北川石英安山岩・段丘堆積物及び沖積層からなる。北川石英安山岩は下位から池月凝灰岩 (溶結凝灰岩を挟む)・下山里凝灰岩・荷坂凝灰岩及び柳沢凝灰岩に初めて細分されている。古川地域には広く段丘堆積物がみられる。西部・南西部及び中南部には多数の段丘があり 中位段丘上段・中段・低段及び下位段丘上段・中段・低段の6つの段丘面が識別される。

◦ 古川図幅は古川・吉岡・仙台の3部作の図幅の第1号として出版されたもので 吉岡図幅は昭和58年に 仙台図幅は昭和60年に刊行される予定である。

5 万分の 1 地質図幅の新刊

# 古 川 FURUKAWA

5 万分の 1 地質図幅  
地域地質研究報告

著 者 北村 信・大沢 穠  
石田 琢二・中川 久夫  
発 行 工業技術院 地質調査所  
取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401

地 質 ニ ュ ー ス	第 333 号	5 月 号
	定 価 ¥ 540	千 実 費
昭和57年5月1日	発 行	
編 集	工業技術院 地質調査所	
発 行 人	林 久 雄	
発 行 所	株式会社 実業公報社	
印 刷	東京千代田区九段南 4 の 2 の 12	
	Tel. (03) 2 6 5 - 0 9 5 1 (代表)	
	振 替 口 座 東 京 3 2 4 6 6	
総発売元	株式会社 実業公報社	出 版 事 業 部